

## 集会案内

**日曜日**

礼拝：2:00pm-2:45pm

**教会住所**

c/o Grace Hills Church  
24521 Moulton Pkwy  
Aliso Viejo, CA 92637  
中庭の小さいチャペル

## 地図



**ホームページ**

[www.irvinenihongokyokai.org](http://www.irvinenihongokyokai.org)

**榊原宣行牧師**

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

**杉村宰牧師**

電話 (714)527-1456

Eメール:sugimura1950@gmail.com

◎石叫■

「高潔なる生涯」②

先日、会津を訪ねた時、会津若松の若松という地名を定め、現在に至る繁栄の礎を築いた人物が、キリシタンの戦国武将蒲生氏郷（がもうじさと）であったことを知りました。彼は近江に生まれ、少年期に織田信長のもとに人質として預けられましたが、信長は彼の能力を見抜き、娘の一人を彼に与えたのです。確かに彼は戦乱の時代にあつて特筆すべき武将として、花を咲かせました。

信長亡き後、豊臣秀吉は氏郷を東北の伊達政宗に対峙し得る人物として、会津に領主として遣わします。氏郷は、茶人としても知られるキリシタン大名高山右近の影響でキリスト信仰を持ち、会津地方に七層の鶴ヶ城を建てました。天守閣は天の神を表す「天主閣」で、七層の七は聖書から採ったともいわれています。後に秀吉は茶人千利休と折り合いが悪くなつたようで、利休に切腹を命じます。その時、秀吉にとりなし、利休の子（娘婿）少庵を会津にかくまったのが氏郷でした。後に少庵の子たちが表千家、裏千家、武者小路千家の三千家となり、現在の茶の世界の広がりにつながること覚えるとき、氏郷の存在の大きさを知らされます。茶の世界とキリスト教の関わりについてはよく論じられますが、千利休七哲の筆頭が蒲生氏郷、第二が高山右近であったことなどを考えると合点がいきます。氏郷は当時としては珍しく生涯側室を置かず、一人の妻の夫でした。多くの領民が彼を慕い、キリシタンになつたと伝えられています。会津と茶の世界の歴史に立つ一人の信仰者の物語は、どれほど私たちを勇気づけることでしょうか。（順風よし 逆境もまたよし）佐藤彰著より）

聖書中の高潔な人物といえ、バプテスマのヨハネがその一人であろう。彼から七百年前の預言者イザヤが、彼こそは「主の道を備えよ、その道筋をまっすぐにせよ」（マタイ三・2）と言わせた当の本人である。だが、ヘロデ王の不道徳を指摘したことにより怒りを買ひ、最期には斬首されたが、もとより死を覚悟してのことであり、それが妥協を許さない主イエスに従う者の道であった。

そのような歩みが氏郷の心を捕らえたのであろうし、さらには彼の高潔な生き方によって、多くの領民が彼を慕いキリシタンになつたのであろう。信仰者の一人として、氏郷のような高潔な生き方に少しでも近づきたいものである。

Rev. Tsukasa Sugimura

## 「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

## 「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ28：18-20）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの折り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。